〈PR〉

リスクソリューションの
プラットフォーマーとして
社会に貢献

開発の思いを聞きました

すこやかな未来のためにキャリアを磨き奔走する女性たち

社会課題解決に向けて新商品やサービスを次々と生み出している

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上あいおい生命。その背景と思いについて聞きました。

Woman 2

蕪美香さん
三井住友海上あいおい生命保険
デジタルイノベーション部
ヘルスケア推進グループ 課長代理

損害保険の営業支社で代理店を通じてお客さまに近い現場での業務を経験。21年に三井住友海上あいおい生命に出向。ヘルスケアサービス「MSAケア」の推進、運営業務に携わる。

Woman 1

宮下志保さん
三井住友海上あいおい生命保険
商品部 商品開発グループ 課長

生命保険会社にて、数理決算、FP教育、商品開発などの業務を経たのち、三井住友海上あいおい生命に転職。以降、商品開発に携わり、24年3月の新商品を担当。

保険商品とサービスの両方で健康をトータルサポート

――まず、現在のお仕事内容について教えてください。

宮下 私は新商品の企画・開発を担当しています。お客さまのニーズや市場動向を調査分析したり、競合他社の商品や最新トレンドを把握するなど、需要にお応えする商品をいかに出せるかを考えています。ご契約者さまにお渡しする約款の作成も大切な仕事の1つです。

蕪 デジタルイノベーション部に所属しており、2022年にリリースしたヘルスケアサービス「MSAケア」の開発・推進業務を主に担当しています。実は両親の介護で大変な思いをした経験があり、同じような悩みを抱えるお客さまのリスク軽減に少しでも貢献したいと思い、今の部署にチャレンジしました。経験が生かせればと、「MSAケア」のサービスをより分かりやすくお伝えするためのセミナーなども実施しています。

――介護・認知症に特化した新商品が登場したそうですね。

宮下 私も認知症の母の介護経験があり、保険商品を通して何かできないかとずっと考えていました。これまでも介護に関する保障はありましたが、医療保険などのオプションという形でした。時代の流れとニーズに合わせて誕生したのが、介護に特化した今回の商品です。

一番の特徴は、「介護に一時金か年金で備える」「認知症に一時金で備える」「介護の度合いによる給付開始のタイミング」をご希望に応じて選べること。お客さまが望まれる保障はそれぞれ異なりますので、きめ細かく対応できるようにしました。認知症については軽度認知障害（MCI）と診断された段階で一時金の給付も可能なので、症状が進行しないようにするための対策にも使っていただけます。

――新商品の発売に伴い「MSAケア」の介護・認知症のサービスも充実したと聞きました。

蕪 「MSAケア」では予防・早期発見から介護が必要になった場合の生活サポートまで保障前後のヘルスケアサービスをご提供し、お客さまの健康をトータルでサポートします。今回の商品開発に合わせ、オンラインでの健康増進サービスや軽度認知障害のスクリーニング検査、配食・家事代行・見守りサービス、介護施設の紹介など、介護・認知症にかかわるヘルスケアサービスが非常に充実しました。

ご自身やご家族の介護・認知症に関する悩みにお応えする相談サービス「介護すこやかデスク」もあります。これは介護全般の相談や、認知症専門の医療機関を紹介するサービスなどがありとても好評です。

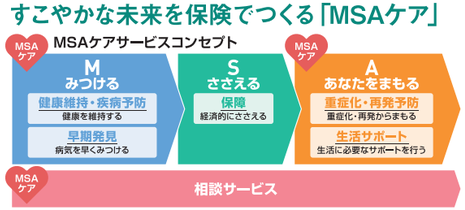
お客さまの立場に立って考える

――仕事をするうえで心掛けていることや目標について教えてください。

宮下 苦労して開発した商品が「すごく役に立った」というお客さまの声を聞くと、本当にうれしいですし、やりがいにつながります。これからもどのような保障が必要なのか、丁寧に検討し、お客さまのお役に立つ商品をご提供できるよう日々努力していきます。

蕪 当社社長の「お客さまの立場に立って考え行動することがお客さまからの感謝・感動・信頼につながる」という言葉に共感し、いつも意識しています。介護の経験をしたからこそ、よりお客さまの立場に立って「MSAケア」のよさをお伝えできるよう使命感を持って働いています。ひとりでも多くの方にご利用いただきたいです！

すこやかな未来を保険でつくる「MSAケア」



MSAケアを今すぐ試したい方はこちらから！

※ご利用には、MSAケアWebサービスのご登録が必要です（ご登録無料）。

「お客さまのために」開発に込めた思いと共に解決策を提供

清輔千賀子さん
三井住友海上あいおい生命保険
執行役員
神奈川・静岡地区営業担当役員

旧大正海上（現・三井住友海上）へ入社し、損保社にて本社部門を複数歴任。三井住友海上あいおい生命のお客さまコンタクトセンター部、企業品質管理部の部長を経て、22年4月に同社初の女性の執行役員に。現在は神奈川・静岡エリアの営業部を所管する担当役員。

社会課題の解決に貢献し、社会と共に成長を目指す

私はお客さまコンタクトセンター部長、企業品質管理部長を経験したのち、一昨年から執行役員を拝命。現在は、二人のような社員が熱い思いを込めて開発した社会課題解決につながる商品・サービスを、営業部を所管する担当役員として代理店と共に多くのお客さまにお届けすることが私の大事な役目です。

この3月に介護・認知症に関する保険を販売した背景には、日本では約700万人が介護を必要とするという現実があります。そのうち約6割はご家族が介護され、約7割は女性が介護しているというデータもあります。介護と子育てを同時に担っている女性もおり、負担の大きさによる介護離職も社会的な課題です。介護は肉体的・精神的な負担に加え、経済的にも負担が大きいものですが、備えをされていない方がたくさんいらっしゃいます。そうした課題を解決したいと当社全体として取り組んでいます。

今は人生100年時代。長生きするだけではなく、いかに健康に暮らしていけるかが大切になってきます。当社は中期経営計画の中でも「お客さまの笑顔で長生きを応援し、すこやかな未来を支える」ことを目指す姿として掲げております。そういった意味では、万が一のときの保障ということだけではなく、まずは病気にならないための対策。そして早期に病気を見つけ、安心して治療に専念でき、元の暮らしに戻れること。それを担うのが予防、早期発見、重症化・再発予防などのサービスを提供している「MSAケア」です。

これからもお客さまへの思いと共に、リスクソリューションのプラットフォーマーとして、あらゆる解決策を提供し、社会と共に成長していきます。お客さまからの感謝の声を原動力に新たな価値を創造し、新たな感動を。そしてそれを信頼に変えていきたいと思います。

宮下さんが開発に携わった新商品とは？

Check it!

すこやかな未来を保険でつくるための介護と認知症を保障する &LIFE（アンドライフ）介護保険C（ケア）セレクト

介護・認知症に関するさまざまなニーズに単品で応えることができる商品。

主契約は5つの保険契約の型から選択が可能

基本保障（主契約）〈保険契約の型〉	まとまった一時金を受け取りたい ▼ 所定の介護状態に一時金で備える	継続的に年金を受け取りたい ▼ 所定の介護状態に年金で備える	認知症に備えたい ▼ 所定の認知症に一時金で備える
公的介護保険制度の要介護1から保障	① 介護一時金Ⅰ型	③ 介護年金Ⅰ型	⑤ 認知症診断一時金型
公的介護保険制度の要介護2から保障	② 介護一時金Ⅱ型	④ 介護年金Ⅱ型	

※介護年金Ⅰ型・介護年金Ⅱ型の年金の種類は、「終身年金」または「5年確定年金」から選択できます。
※オプション（特則）として、軽度介護一時金給付特則、軽度認知障害診断一時金給付特則、重度介護前払機能付死亡保障特則が付加できます。

問合せ／三井住友海上あいおい生命　https://www.msa-life.co.jp/